

# 菜園くらぶ

監修/帖地 近行



## 用意するもの(1㎡当たり)

■苗 ■苦土石灰60g ■元肥(完熟堆肥2kg、化成肥料50g、鶏ふん100g、熔リンまたは過リン酸石灰50g、硫酸カリ10g) ■追肥(1回当たり)化成肥料25g、鶏ふん25g ■マルチ用・ビニールトンネル用のパイプとビニール ■敷きわらや枯れ草

※苦土石灰、元肥は1穴当たりの使用量

※1株当たりの収穫量の目安/ネットメロン:3、4個。プリンスメロン:6個。マクワウリ:6~8個

## 栽培カレンダー

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			●	●							
										●	●

【ウリ科・アフリカ、中近東原産】  
生育適温は昼間が28~30度、夜間の最低温度15度以上が必要。乾燥を好み多湿・多肥を嫌うので水や肥料の与え方に注意し、乾燥気味に育てます。  
品種はたくさんありますが、温室やハウスのない菜園ではマクワウリやプリンスメロンが作りやすいです。



# メロン

収穫まで  
約3カ月!

## 栽培手順

### ① 植え付け

植え付けの3週間前までに、まず畝幅と株間を決めて、所定の位置に深さ・直径とも30~40cmの穴を掘り、掘り上げた土に苦土石灰をよく混ぜて戻しておく。

1週間後、再度

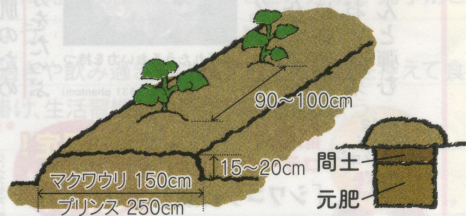
穴を掘り上げて堆肥と元肥を施し、掘り上げた土を戻してよく混ぜ、穴の中心をやや高めに土を戻してマルチングする。雨に弱いので広めの雨除けトンネルをするとよい。

2週間後、本葉

3、4枚の苗に鉢の

底まで水がしみわたる程度の水をかけ、深植えにならないよう浅く植える。根が弱いので丁寧に扱う。

※プリンスは畝の端に、マクワウリは畝の中央に植える。



### ② 管理

成長するに従い摘芯と整枝を順次行う。

・摘芯:本葉4、5枚のところに親ヅルを摘芯する。ビニール等でマルチをしていないときは、必ず敷きわらをする。

・整枝と授粉

① 勢いのある子ヅルを2本伸ばし、25、26

### ③ 収穫

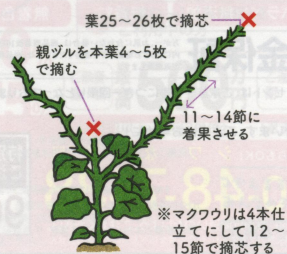
果実が黄白色に変わり、芳香が出始めたなら収穫できる。香りがあまり強くないうちに収穫する。

節で摘芯する。  
② 子ヅルの11~14節あたりから出る子ヅルに雌花を咲かせる。  
③ 雌花が咲いたら早朝に雄花を取り、遅くとも9時ごろまでにめしべに花粉を付ける。  
④ 孫ヅルは葉を2枚残して摘芯する。  
⑤ 1本の子ヅルに2、3本の孫ヅルを残してほかは摘み取る。ただし先端付近から出る孫ヅルは放任する。

⑥ 果実が鶏卵大のころに、形の悪いものやゆがみのあるものは摘み取り、1本の子ヅルから1、2個収穫する(1株から3、4個)。

※追肥

1回目は果実が鶏卵大のころ、子ヅルの先端あたりに施し、2、3週間後に2回目を実施。



### \*ポイント\*

- ・排水に努め高畝にする。
- ・植え付け後、活着したらかん水を控え根を深く張らせる。
- ・極端な整枝は避ける。
- ・着果が確認できたらかん水を始めるが収穫前は控える(糖度を上げる)。